【長野県 箕輪町】

町民体育館リニューアル事業について

町民体育館特別委員会 副委員長　大場 光晴 議員





7月15日長野県上伊那郡箕輪町の「町民体育館リニューアル事業」について研修した。

箕輪町は、人口は神戸町の1．35倍の約2万4千人で、面積は4．5倍の85．91㎢である。

長野県のほぼ中央に位置し、天竜川が町の中央平坦地を南流し、東西には河岸段丘が著しく発達している。段丘下の沖積地は古来からの水田地帯、西部には西天龍水田区から扇中央部の畑地帯を経て、中央アルプス前山に連なっている。

◆視察目的

公共施設の老朽化が全国的な課題となる中、箕輪町が実施した町民体育館リニューアル事業について、施設整備の考え方や財源確保、維持管理、防災機能、多目的機能の取り組みを学び、今後の神戸町における公共施設（町民体育館）整備の参考とすることを目的に視察した。

◆研修内容

体育館は昭和46年に建設され、令和6年6月から約1年半にわたりリニューアル工事を進め、令和8年6月から一般開放された。リニューアルしたばかりの体育館も見学させていただいた。

既存施設を有効活用しながら耐震化、長寿命化を図るとともに、風のない輻射式パネルによる空調設備の整備、柔道・剣道のできる武道館のほか、町が力を入れているフェンシングの練習場も備えており、利用者の利便性向上を重視した改修が行われていた。

また、災害時には避難所として活用できる防災機能を備え、平常時と非常時の双方で役立つ施設となっている。

設計段階から町民や利用団体の意見を取り入れ、幅広い世代から利用しやすい施設づくりを進めている点も大変参考になった。



◆所感

今回の視察を通じ、町民の健康づくり、スポーツ振興、防災、地域交流など、複数の役割を担う施設として整備することが重要であると感じた。

町民にとって利用しやすく、将来にわたり持続可能な公共施設整備の実現に向けて提言していきたい。

【長野県 飯綱町】

地域一体型教育での教育改革の取り組み

民生文教常任委員会 副委員長　小川 榮一 議員





飯綱町は、長野県の北部に位置し、東西に13・9㎞、南北に15・6㎞、面積は神戸町の約4倍の75㎢である。

人口は1万70人、世帯数は4208世帯である。主要産業は、農業で高原野菜とりんごを生産している。

飯綱町は、地域一体型教育の先進地であると同時に議会改革の先進地であることから、2コマの研修をお願いしたところ、快く受け入れていただいた。

地域一体型教育では、飯綱中学校の学校長より「探究学習」についての説明を受けた。

飯綱中学校では、生徒のモチベーションを大切にするため、一人ひとりが自分の興味・関心あることについて取り組む「探究学習」の時間を毎週水曜日に30分間設けている。生徒たちは、その時間で探究したことを実践に移している。

例えば、地域課題に地域の人たちと一緒に取り組んだ事例として、車が好きな子が企画し、地域から70台以上の車が参加した「カーフェスタ」の取り組み、空き家問題に関心がある子が「空き家活用の提案」、吹奏楽部が地域の方とイベント企画を実行したことなどがあげられる。

学校が「地域のニーズと生徒のニーズをつなぐ場」となり、生徒の成長が地域を変える推進力になっていることを理解することができた。

小学校では、人口減少を踏まえ「学校のあり方」の議論を住民全体で行い、いったん4校の小学校を全て廃校にし、従来施設を利用して新たに2校体制にする一方で、使われなくなった2校の施設を地域・企業などに活用する方向性を打ち出した。

この手法は斬新で、廃校になる施設の活用も地域と考えながら進める飯綱町の取り組みに学ぶべき点が多くあった。

現在、廃校の2校に14社の企業が入り、その企業と学校が連携し、いろいろな取り組みにチャレンジしている。とりわけ、IT企業とは、児童のプログラミング能力の向上に取り組んでいる。

地域一体型教育は、学校や地域にとっても新しい可能性のある取り組みとして、これからの神戸町の教育にとても参考になるのではないかと思った。

【石川県 中能登町】能登半島地震における被害、復興計画策定への取り組み
【長野県 飯綱町】　政策サポーター制度での住民協働の取り組み

総務建設常任委員会
議会改革特別委員会 副委員長　深貝 仁則 議員



［中能登町］

中能登町は能登半島の中ほどに位置し、人口約1万6千人、面積89.45㎢、平成17年3月1日に3町が合併し、誕生した。

令和6年1月1日16時10分に起きた能登半島地震では、町内最大震度6弱を観測した。研修では、建物やライフラインの被害状況、避難所の運営、罹災・被災証明、ごみの処理などの対応、受援の状況について説明を受けた。

県内で最も早く断水が解消された中能登町だが、発災後の住民アンケートで最も困った点として挙げられたのは「水とトイレ」であった。衛生、給水支援の重要性を改めて実感した。

また、議員は現場で対応にあたる町職員の動きを妨げないという共通認識を持っており、発災時の議員のあり方について貴重なご意見を伺うことができた。

岐阜県が「対口支援」を行い、町職員も支援に赴いたご縁のある中能登町を視察できたことは貴重な経験となり、多くの学びを得ることができた。

［飯綱町］

飯綱町では、町民から信頼される議会を目指し、さまざまな議会改革に取り組んでいた。その中の一つである「政策サポーター制度」について詳しくお聞きした。

政策サポーター制度は、開かれた議会とするために議会活動に町民の参加を広げること、町民の知恵も借りて政策づくりを協働で進めることを目的に始まった。

これまでに、政策サポーターとして延べ85名の方が参加され、12テーマを町長に政策提言している。提言の中には、時間外保育料の一部無料化、地域振興係の新設など具体化されたものもあった。

飯綱町議会の10年間の議会改革の取り組みを学ぶことができた。政策サポーター経験者の中から議員になる方もみえ、人材育成やなり手不足解消への実効性を強く感じた。


中能登町

【石川県 金沢市】大桑防災拠点広場を視察



大桑防災拠点広場は、防災備蓄倉庫、屋根付避難広場、かまどベンチ、耐震性貯水槽などを備え、災害発生時には地域住民の緊急避難場所となる。

また、市内の被災地域への支援拠点や、他自治体からの緊急支援隊、支援物資の基地としても活用される。

能登半島地震における金沢市の被害状況や課題への取り組みについても話を伺うことができ、参考になる点が多いと感じた。

議会の動き（８月～ 10 月）

8月

12日(水) 町民体育館特別委員会
19日(水) 議会運営委員会
21日(金) 全員協議会
議会改革特別委員会

9月

7日(月) 第４回定例会(初日)
9日(水) 民生文教常任委員会
10日(木) 総務建設常任委員会
11日(金) 連合審査会
16日(水) 第４回定例会(一般質問)
17日(木) 第４回定例会(議案審議)
全員協議会

10月

1日(木) 西南濃管内町議会議員研修会・交流会
13日(火) 広報編集特別委員会
20日(火) 全員協議会
議会改革特別委員会
21日(水) 広報編集特別委員会
市町村議会議員セミナー

自治功労者一般表彰を受賞



西脇 博文 議員

10月6日、岐阜県町村議会議長会定期総会において、自治功労者表彰授与式が行われ、西脇博文議員が表彰されました。

この表彰は、議員在職年数が12年を超え、地方自治の振興と地域の発展に寄与された功績をたたえるものです。

今後のますますのご活躍をお祈りします。

ふるさと再発見



本町通りの夏祭りの様子

表紙の写真は、10月11日に開催された神戸町文化祭で、神戸町民踊(謡)保存会が披露した「神戸音頭」の様子です。

神戸音頭は、伝統行事の熱気や美しい自然を親しみやすいリズムに乗せて表現した郷土の民謡です。昭和初期に誕生し、地区の夏祭りや学校行事、文化行事を通じて大切に受け継がれてきました。

令和７年度には神戸町民踊(謡)保存事業として、「神戸音頭」「神戸まつり」「神戸小唄」を譜面にまとめた楽曲集と、唄や踊りを学ぶことができる動画が制作されました。この大切な伝統が、今後も末永く後世へ継承されていくことを願っています。

ごうど議会だより
No.198号
令和8年11月1日発行
発　行／岐阜県安八郡神戸町議会
編　集／議会広報編集特別委員会
〒503-2392　岐阜県安八郡神戸町大字神戸1111
☎(0584)27-5363　FAX(0584)27-2300
ホームページ　https://www.town.godo.gifu.jp/